

モニタリング結果報告書 (平成28年度)

1. 施設概要

施設名	大磯城山公園		
所在地	大磯町西小磯・国府本郷		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/ooisojoyama/index.html		
根拠条例	神奈川県都市公園条例		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和62年4月)		
指定管理者名	(公財)神奈川県公園協会・湘南造園(株)グループ		
指定期間	H27.4.1~H32.3.31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況の評価はS、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はSとなった。 事業計画に基づき、適切に業務が実施されており、継続が望まれる。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 「湘南の風土と邸園文化の継承、おもてなし」を総合的な管理運営方針として事業を実施した。規模の小さい公園ではあるが、地域と連携しながら、地域イベント「おいそオープンガーデン」や大磯城山公園のメインイベント「もみじのライトアップ」等を盛り上げることで、公園の魅力発信を行うとともに、地域の活性化にも貢献していた。また、次年度の拡大オープン後の混雑対応について、周辺施設に呼びかけ、定期的な会議を行うなど積極的に取り組んでいた。</p> <p>◆利用状況 利用者数が目標達成率111.9%となったためS評価となった。前年度対比では、天候不順や園内の大磯町郷土資料館の改修に伴う休館等が影響し、10.2%のマイナスとなっている。</p> <p>◆利用者の満足度 県が年間5回調査を実施し、上位2段階の回答割合が91.3%となったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況 駐車場収入の増加に伴う収入の増、委託業務の見直しや光熱水費の節減を理由とした支出の減があり、収支差額は2.7%のプラスとなったためA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 職員等の対応等に苦情が寄せられたため、再発防止に努めた。なお、職員の対応についての利用者満足度は上位2段階の回答割合が94.1%となっており、親切で、会うとあいさつをしてくれるとの声が寄せられている。</p> <p>◆事故・不祥事等 夜間閉鎖している旧吉田茂邸地区から早朝に不審者が出て行くのが目撃されたが、防犯センサーが稼働しなかったことから、センサーの調整及びパトロール経路の追加などを指定管理者で行った。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、平成28年度の3項目評価についてはS評価とした。</p>	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	—	—
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	週1回程度	—
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
	有・ <input type="checkbox"/> 無	—

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>大磯ニューツーリズムで心身ともにリフレッシュ</p> <p>○大磯町と一丸となり新たな観光の核づくりに取り組み、「おおいそオープンガーデン」や「もみじのライトアップ」を開催する。</p> <p>○大磯町観光協会や大磯ガイドボランティア協会と連携し、散策やウォーキングを企画する。</p> <p>○市民参加や市民の発表の機会の提供、利用者ニーズを反映した公園運営を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光の核づくりとして行われている「大磯オープンガーデン」に参加し、大磯町観光協会や大磯町商工会等と連携して「城山マルシェ」の開催などを行なった。 ・「もみじのライトアップ」を湘南邸園文化祭に併せて開催した。 ・大磯ガイドボランティア協会と連携して、庭園ガイドを継続して実施した。 ・お土産が欲しいとの声があることから、バラ園の花びらから染めたハンカチの企画を進めた。 	-
<p>邸園文化を伝えるおもてなしの空間づくり</p> <p>○公園の復元された魅力を向上させるため、適正な管理運営を実施する。</p> <p>○北蔵、茶室、旧吉田茂邸地区多目的ルーム等を活用したイベントを市民団体等と連携して開催する。</p> <p>○展示や講座を企画し、大磯や神奈川県、自然・歴史を学ぶ機会を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理で美しい庭園を維持した。 ・北蔵での作品展、茶室を活用した茶会や茶道教室を継続したほか、邸園コンサートの開催数を隔月に増加し、利用者に喜ばれた。 ・郷土資料館と連携して海辺の自然を紹介展示を行い、日本庭園勉強会やバラに関する講座を開催した。 	-
<p>旧吉田茂邸再建に向けた公園の観光拠点化</p> <p>○大磯ガイドボランティア協会と連携し、旧吉田茂邸地区で庭園ガイドや七賢堂定期公開を実施する。</p> <p>○大磯市や大磯うつわの日など地域イベントに積極的に参加し、本公園の魅力を発信する。</p> <p>○さまざまな広報媒体を活用し、広域的な広報活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大磯ガイドボランティア協会と連携し、庭園ガイドや七賢堂定期公開を実施した。 ・地域イベントに参加し、公園の知名度向上に努めた。 ・ホームページのこまめな更新を継続し、新たな媒体への情報発信も積極的に行うことで、新聞やWEB媒体等への掲載もH27：373件からH28：451件と増加した。 	-
<p>地域と連携した災害への備え</p> <p>○消防署や自治会に公園の防災・災害対応に関する情報提供を行う。</p> <p>○新たに整備された旧吉田茂邸地区の避難誘導経路を地域住民や利用者に周知する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署と連携し、旧吉田茂邸からの出火を想定した来園者誘導や、消防車の園内誘導などの消防訓練を行った。 	-

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
駐車場の管理運営	団体申込みやバス利用申込みのルール化を行い、円滑な運営に努めた。
自動販売機の設置	利用者へのサービス向上のため、利用者の多い施設周辺に自動販売機を設置していた。
茶室の管理運営	茶室「城山庵」で茶道教室等を開催しているほか、併設した休憩室で地元の和菓子とセットの抹茶を提供するなど、利用促進に努めていた。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
S	

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	324,260	337,033	302,548
対前年度比		103.9%	89.8%
目標値	105,000	262,650	270,300
目標達成率	308.8%	128.3%	111.9%

目標値の設定根拠： 前々年度：平成18-20年度実績平均の95%
前年度、平成28年度：提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： センサーによるカウント及び駐車台数、団体申込み人数より推計

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 127 / 127 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	78	38	10	0	1	127	ライトアップがきちんとされてゴミも落ちていない
回答率	61.4%	29.9%	7.9%		0.8%		
前年度の回答数	93	53	9	3	0	158	
前年度回答率	58.9%	33.5%	5.7%	1.9%			
回答率の対前年度比	104.3%	89.2%	138.2%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 68 / 68 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	55	9	3	1	0	68	親切で、会うとあいさつをしてくれる
回答率	80.9%	13.2%	4.4%	1.5%			
前年度の回答数	73	25	6	0	1	105	
前年度回答率	69.5%	23.8%	5.7%		1.0%		
回答率の対前年度比	116.3%	55.6%	77.2%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

—

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	61,587	0	5,258	駐車場5,258	66,845	66,845	0	100.00%
	決算	61,587	0	2,689	駐車場2,689	64,276	64,195	81	100.13%
前年度	当初予算	69,586	0	2,348	駐車場2,019 自販機 329	71,934	71,934	0	100.00%
	決算	69,586	0	3,096	駐車場2,543 自販機 552	72,682	70,458	2,224	103.16%
28年度	当初予算	69,586	0	2,831	駐車場2,494 自販機 337	72,417	72,417	0	100.00%
	決算	69,586	0	3,620	駐車場2,934 自販機 686	73,206	71,263	1,943	102.73%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数				(単位:千円)	
28年度 /	—	前年度 /	—	前々年度 /	—

<備考>	—
------	---

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
28年10月-29年3月	3,972	危険木伐採等
29年1月-2月	687	ポンプ交換
29年2月-3月	378	電話設備交換

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入	—	
支出	—	
積立	—	

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備		件	
		件	
職員対応	アンケート	1 件	職員に挨拶をしても無視するなど対応が悪かった。(5月)
		件	
職員対応	電話	1 件	駐車場満車の場合に、他の駐車場へ案内するよう職員教育すべき。イベント広報でも他の駐車場を案内すべき。(11月)
		件	
事業内容	電話	1 件	草刈機、ブローの音がうるさい。(7-9月)
	対面	2 件	
その他	メール	1 件	公園の外周道路や住宅に公園の落葉が積もるので清掃して欲しい。(11-12月)
	電話	1 件	
	対面	2 件	

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
4月24日	①夜間閉鎖している旧吉田茂邸地区において、早朝に男性が塀を乗り越えて出て来たと周辺住民により通報があり、防犯カメラ映像でも確認出来たが、防犯センサーが作動しなかった。 ②事故等報告書により確認を行った。また、4/27には現地確認を行った。 ③指定管理者と警備会社による調査の結果、防犯センサーに死角があったことが判明したことから、センサーの向き等について調整するとともに、夜間潜んでいたと思われる箇所への侵入防止竹柵の設置及び警備パトロール経路の追加など、再発防止に努めた。 ④無し ⑤防犯センサーの不備。また、利用者及び管理者が入らない樹林地内に人が潜むことを想定していなかった。竹柵は指定管理者による直営作業であり、費用負担は無し。 ⑥無し
5月24日	①池のコイが連続して死亡したことから、県水産技術センター内水面試験場に持込み検査したところ、5/24にコイヘルペスウイルスの陽性反応が出た。 ②報告を受け、5/27診断確定後は県が主体で現地確認等含めて対応した。 ③コイは回復してもウイルスを持っている可能性があることとされていることから、池のコイについてはやむを得ず殺処分した。なお、コイは飼育していたものではなく、投棄されて増えてしまっていたものである。 ④無し ⑤ウイルスの感染源は不明。コイの捕獲等は県の発注によるが、現地への掲示や利用者対応等は指定管理者によって行った。 ⑥有り(5/27)

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。